



かい がい せい かつ
海外生活
レポート

25



【オーストリア】
AUSTRIA

川崎市名誉国際親善大使

夫、ライナー・キュッヒル氏と暮らすウィーン

(バイオリニスト)



レポーター

キュッヒル 真知子さん

●オーストリア・ウィーン在住



▲ご家族と一緒に

オーストリア・ウィーンに暮らして40年になります。人口約850万人で国土面積は日本の4分の1ほどの小国ですが皆様もご存じのとおりウィーンは音楽の都として世界に知られています。

文化度も国際色も高いウィーン

人口が少ないにもかかわらず毎晩演奏会やオペラが上演されており、またその他の催し物も多く、オーストリア人の文化に対する関心の高さは目を見張るものがあります。また昔「会議は踊る」という映画で一躍有名になった街でもありますから11月から2月にかけてはそのなごりで舞踏会が各地で開催されています。またオーストリア人は非常に社交的でそれはお国柄とでもいえましょうか、一年中国際会議やイベントなどにも場所を提供し世界各国からのお客様をお迎えしています。それに伴いホテルやペンションなども多く最近では伝統的なホテルだけではなくモダンな作りのホテルも多くなりました。国民性としては常に国の美化を図り、生

活の中には音楽を取り入れ、地方でもお祝いやお祭り事などを盛んに行う国民です。

オーストリアと川崎

オーストリアのザルツブルグ市は川崎市と1992年より姉妹都市をむすんでおり、川崎市から市長が訪澳され、音楽会を鑑賞されたこともありました。ザルツブルグ市の旧市街も大変美しく世界各国からの観光客で常に賑わっています。またもう一つ忘れてはいけないのはウィンタースポーツで、冬季オリンピックではオーストリア人選手は各種目で毎回上位に名を連ねています。

日本食も人気です

ウィーンの街は国民の生活水準の高い都市として、毎年世界1位、2位を争っています。日常生活の衣食住は40年前と比較しますととても便利になり、物価も地域によりそれほど高くありません。サービスの面では日本の便利すぎるサービスと比較しますとまだまだですが、それが当たり前と思ってしまうほど苦になりま

せん。いずれにしても街中は素敵な街並みですし、お料理も美味しく最近では“ヌーベルクイズィン”とでもいえましょうか、新しいスタイルの食が流行でレストランは四季折々いろいろな食材を使い工夫を凝らしています。日本食も健康ということで大変な人気です。私はその昔、毎回日本からトランクにいっぱい日本の食材を持ちかえりましたが、近年はその苦勞もなくなりました。

ウィーンを訪ずれる方へ

残念なことは最近他国からオーストリアに入り各地でスリなど犯罪をする人が多くなっているということです。警察当局も防犯カメラの設置などその対策に力をいれていますが、日本人も多く被害にあっていますのでおいでになれる方はご注意ください。

(文・写真:キュッヒル 真知子さん提供)



オーストリア共和国

面積:8.4万km²
人口:約850万人
首都:ウィーン



▲国会議事堂



▲グラーベン通りからミハエル広場を見る



シュテファン大聖堂▼